

静岡県日本一巡り観光ルート 東部編

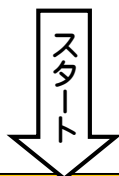
まだ寒い日もありますが、3月に入ると暖くなり、春の訪れを感じることも多くなるかと思えます。外に出て何かしよう！という方のために、

今回は「静岡県日本一巡り観光ルート 東部編」をご紹介します。

静岡県の東部地域には、みなさんご存知の富士山があります。富士山は日本一高い標高3,776メートルの山で、平成25年に世界遺産に登録されています。

そんな静岡県の東部地域には、他にどんな日本一があるのでしょうか？

それでは出発！！

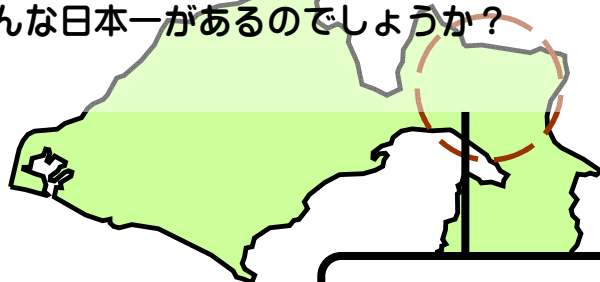


にらやまはんしゃろ

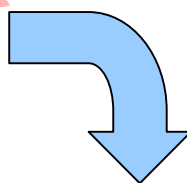
富士山反射炉（伊豆の国市）

→反射炉とは、鉄などの金属を溶かして鉄砲を造るための溶解炉のことです。

富士山反射炉は、実際に稼働した反射炉としては日本で唯一現存しているものであり、平成27年に世界遺産に登録されました。



今回はこのあたりを中心に
ご紹介します！

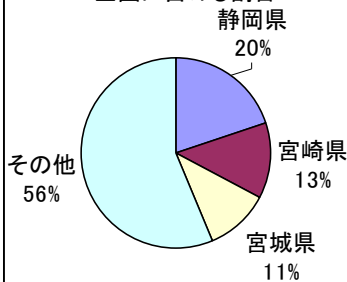


まぐろ丼（沼津港）

→静岡県は、きはだ（まぐろの一種）の漁獲量、産出額が日本一です。平成29年における全国のきはだの漁獲量は70,200トンで、そのうち静岡県が19,300トンを含め、日本一です。

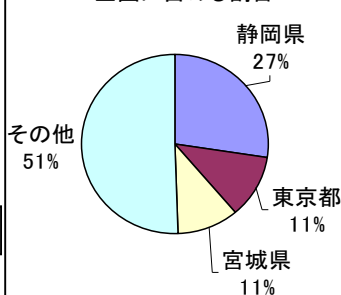
また、平成28年の全国産出額は332億8,000万円であり、そのうち静岡県が66億8,500万円を含め、こちらも日本一です。

平成28年 きはだ産出額
全国に占める割合



出典：「漁業産出額」農林水産省

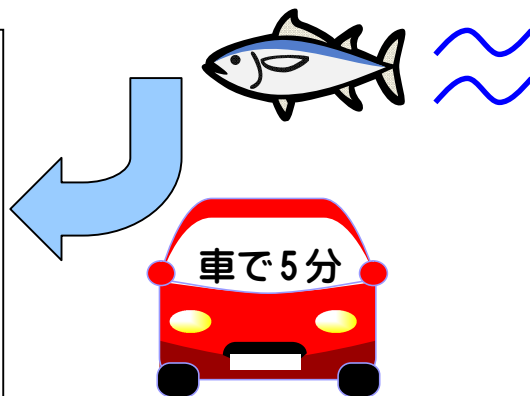
平成29年 きはだ漁獲量
全国に占める割合

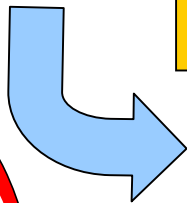


出典：「漁業・養殖業生産統計年報」農林水産省

沼津港大型展望水門「びゅうお」（沼津港）

→沼津港の内港と外港を結ぶ航路から進入する津波から、港の背後地の50ヘクタール、9,000人を守るために造られた水門です。津波をシャットアウトする扉は、幅40メートル、高さ9.3メートル、重量406トンと日本最大級です。その高さを生かして展望施設が併設されており、最初にご紹介した日本一の富士山等も見渡すことができます。



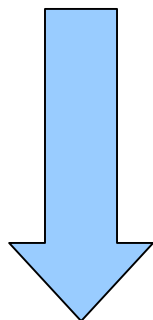
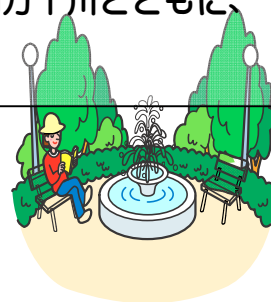


柿田川公園（駿東郡清水町）

→柿田川公園は、町民の憩いの場として柿田川の上流部に開園しました。この柿田川の湧水群の水量は、日量約100万トンで、日本一の湧水量を誇ります。

富士山に降った雨や雪が地下に流れ込んで、三島溶岩流の間を流れ、三島溶岩流の末端にある柿田川公園付近で湧水となって現れています。

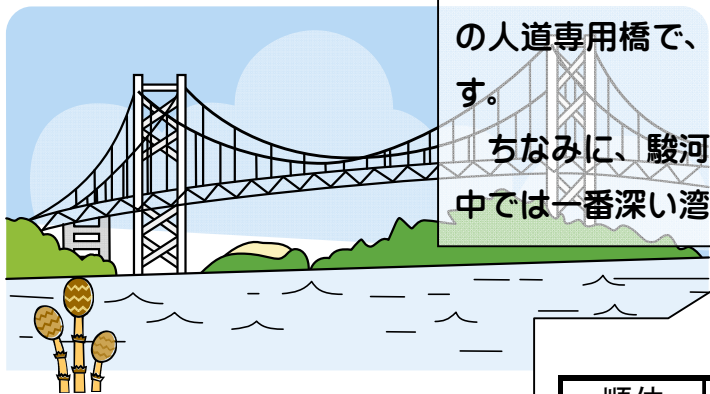
柿田川はこの湧水を水源とし、長良川・四万十川とともに、日本三大清流に数えられています。



せいろく箱根西麓・三島大吊橋（三島スカイウォーク）（三島市）

→三島市に平成27年に開業の、箱根西麓・三島大吊橋（愛称：三島スカイウォーク）は、日本一となる全長400メートルの人道専用橋で、世界遺産の富士山や駿河湾の絶景が堪能できます。

ちなみに、駿河湾の最深部は2,500メートルにも達し、日本の中では一番深い湾として知られています。



日本の深い湾トップ3

順位	名称	水深(メートル)	所在地
1位	駿河湾	2,500	静岡県
2位	相模湾	1,500	神奈川県
3位	富山湾	900	富山県

出典：東海大学出版会日本海洋学会沿岸海洋研究部会編、「駿河湾のなぞ」（星野通平編）

東部地域にも、たくさんの日本一がありましたね！日本一巡り観光ルートは、過去にも伊豆編・中部編・浜名湖編・中東遠編をご紹介してきました。地域ごとに見ていくと、知らない日本一や観光地等、新しい発見もあったことと思います。もしかすると、まだ誰も発見していない日本一があるかも・・・しれません。ぜひ、静岡県の日本一を探してみてくださいね！